

自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.13

Enjoy Country Life
YASUDA TOWN

「第13号」 2012 FEBRUARY (2月)



ふるさと 百景

安田町今昔物語



昭和35年前後の盆踊り風景
(現在の中芸地区商工会安田支所、安田郵便局付近)

安田町

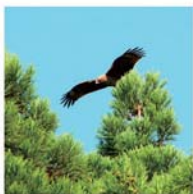
待ちに待ったお祭りの日

知っている顔も、懐かしい顔も、知らない顔も集まって

みんなニコニコ、ウキウキしちゅう

笑って、遊んで、おいしいものをいっぱい食べて…

早う、次のお祭りが来てくれんろうか



Contents

13	12	11	9	8	5	3
懐かしMAP◎番外編 魚梁瀬森林鉄道 開通100周年	地域再生支援事業の取り組み みんなで地域の体力アップ！ 元気なやすだ地域再生支援事業	安田の味自慢 ・中山のユズ、海を渡り、韓国へ ・中山のユズ、料理と美容に使っています！	安田まちなみ交流館「和」 「風になった」 龍馬展」を開催	安田川のアユは、まつことうまい 安田町東島●有岡只祐さん	安田町子どもの夢実現事業 僕らの夢、かなったよ！ People	安田の夢プラン 地域のきずな、ギュッと結んで 復活！安田の夢まつり

地域のきずな、**ギユツ**と結んで

あんな

復活！安田の夢まつり

昨年8月13日(土)、「復活 安田の夢まつり」が開催されました。安田町の住民が集う、新たなにぎわいの場として誕生した祭り。それは、祭り復活を願う住民みんなの思いの結晶でした。

みんなが楽しめる祭りを復活！

お祭り開催は、町の活性化を目的に「安田の夢プラン推進会」が結成されたことがきっかけになりました。この推進会は、安田町と住民団体などが、官民

連携して地域振興を図る協働組織で、6月に発足しました。

まちの活性化や情報発信について話し合われる中で、話題に上ったのが、かつて行われていた「清流安田川祭り」のこと。「あんなふうに、住民が楽しめる夏祭りがあるといいよね」といった声が上がりました。ほかにも「町外の人を呼び込みたい」「町の特産品も紹介したい」などの意見が出たと町経済建設課の手島「憲主幹は話します。

町外の人や観光客も気軽に立ち寄れるようにと、国道沿いの輝るぼーと安田

を主会場に決定。短期間で出店の参加者を募集し、告知を図り……。推進会を中心に、祭りの開催に向けて急ピッチで準備が進められました。

千人以上が楽しんだ夏の宵祭り

こうして迎えた「復活 安田の夢まつり」は、まさに復活した地域のきずなの一つでした。輝るぼーと安田がメイン会





場、周辺道路を通行止めにして歩行者天国に。開会式では幼稚園児による風船飛ばしや安田中学校吹奏楽部による演奏などが行われ、華やかにスタート。

会場に、安田小中学校PTA、中芸地区商工会の青年部、なかやま山菜工房など出店のほか、安田自慢のご当地グルメを提供するブースも設けられました。また金魚すくいやくじ引きもあり、ちびつ子が喜ぶ姿が会場のそこかしこで見られました。輝るぽーと安田内のレス・トラン・ラポールではジャズ・ライブが行われ、大人たちはおしゃれな雰囲気を楽しんでいました。

当日の入場者は、町内外合わせて千人にも上りました。会場中が笑顔に包まれた「復活 安田の夢まつり」。今年もぜひ開催を！既に、そんな声も聞かれています。

みんなの喜ぶ顔がうれしかった

安田の夢プラン推進会

● 監事 竹内幸恵さん

準備期間が短かったので大変でしたが、住民の皆さんの協力のおかげで開催できました。当日がお盆だったので帰省中の人たちも遊びに来てくれて、懐かしい顔を見ることができました。予想以上に盛況で、みなさん、こういう集いの場を求めているんだな、と実感しました。

当日は運営のほかに出店のお世話もあつて忙しくしましたが、皆さんのうれしそうな顔、子どもたちの楽しそうな様子を見て、やってよかったと思いました。



ぼくらの夢、かなったよ！

【安田町子ども夢実現事業】



町の将来を担う
子どもたちのために、
夢をかなえてあげたいよね。
そんな思いから生まれた
「安田町子どもの夢実現事業」。
安田の子どもたちの
素敵な夢を2つ、
かなえることができました。

安田町子どもの夢実現事業は、町の振興計画を基にした安田の夢プラン事業の一環。子どもたちの健全やかな育成を目的に、安田町子どもの夢実現事業実行委員会を立ち上げ、事業の実施を進めました。

まずは、安田小学校4、6年生と安田中学校の生徒たちから、かなえたい「夢」や「思い」を募集しました。集まった夢は81点。「工場見学に行きたい」「文

化祭をしたい」といったものから「アイドルになりたい」といったユニークなものまで、たくさんの夢や希望が集まりました。これらを実行委員会でも選考し、小学生2名、中学生1名の「夢」を採用しました。



小学生の中で採用されたのは、気球に乗るという「夢」でした。「空の上から朝日を見てみたかった」という鶴岡胡弓さん（小4）と、「上から見る安田町はどんなだろうと思って」という齊藤雅治さん（小4）の2人の夢です。

「夢」は昨年12月17日の早朝に、北大野工業団地で実現しました。会場には子どもから大人まで多くの人が



“気球に乗って
朝日を見たい”
“気球に乗って
町の景色を見たい”



齊藤 雅治さん



鶴岡 胡弓さん



訪れ、大きな熱気球の前に、ワクワクした表情を見せていました。

最初のフライトには鶴岡さんと齊藤さんに、2人のご家族が搭乗しました。「お父さんやお母さんに感謝されました」と笑う齊藤さん。「揺れるとちよつと怖かったかな」と鶴岡さんも振り返ります。

当日は快晴。「気球に乗って見た朝日は、いつもと違ってきれいに見えた」と鶴岡さん。齊藤さんは「森・田んぼや海が見渡せて、ぼくらの町が本当にきれいな所だとわかった」と感想を話してくれました。

気球に乗って、自分たちの町の上で空中散歩を楽しんだ子どもたち。忘れられない思い出として、心に残ることでしょう。



有岡 育哉さん

中学生で採用された「夢」は、スポーツ観戦。日本のトップアスリートが競う、卓球の全日本選手権を見ることでした。

実は安田中学校卓球部は昨年、県の大会で男子団体が3位に入賞し、四国大会へ出場という快挙を果たしました。そんな卓球部の一員として活動していた3年生の有岡育哉さんが出した「夢」が、選手権大会観戦でした。

有岡さんは応募の理由を「テレビで見てもわからない会場の盛り上がり、休憩中の選手の過ごし方などを見てみたいと思ったから」と話します。

観戦したのは、1月21、22日に東京で行われた全日本卓球選手権大会。有岡さんとともに、3年生の卓球部員みんなが試合を見ることができました。「緊迫した試合の雰囲気や、チームメイトの応援の仕方など、僕たちとは全然違っていった。ここまで勝ち上がってくるために、



選手の人たちはどれだけ練習したのだろうと思いました。ほくたちももっと練習しなければ」。

試合観戦に加えて、東京観光もさせてもらったと、うれしそうに話す有岡さん。大会の様子は、卓球部の後輩たちにもしっかりと伝えたそうです。「夢をかなえてくれて、町の大人の皆さんに感謝しています。この経験をしっかりと生かしていきたい」と、有岡さんは決意を話してくれました。



「安田川のアユは まっことうまい!!」

有岡 只祐さん（安田町東島在住）

安田町東島でナス農家を営む有岡只祐さんは、日本でも指折りの鮎釣り名人。ダイワ鮎マスターズでは2度の3位入賞を果たし、釣り具メーカーと契約して製品開発にも携わるほどです。

アユの友釣りを始めたのは小学4年生。「昔はゲームなんてなかったし、遊びといえばこれ。大人も子どももやりよった」。大人になって本格的にアユ釣りにのめり込み、県内外の河川で釣りの腕を磨いてきました。



ダイワ鮎マスターズ2011
四国地区予選入賞の盾



有岡さんが育てたナス。顔が見える野菜として大好評

しかし、有岡さんは「釣りはあくまで趣味。だから楽しいし、夢中にもなれる。大切なのはナス農家という仕事です」と断言します。有岡さんが育てたナスは、首都圏の大手量販店に並んでいます。鮎釣り名人として県外遠征などに飛び回りますが、それもナスの売り込みのきっかけづくり。「ナス、買ったよー!」と言われるのがうれしいと話します。

国内のさまざまな河川でアユ釣りをしていた有岡さんですが、やはり安田川への思いはひとしお。「何より、目の前を流れているし（笑）。安田川のアユは本当においしいからね」と、子どものころから遊んできた川を称えます。

- アユ 漁 解 禁 日 6月1日～10月15日
- 落ちアユ漁解禁日 12月1日～12月31日
- ※詳しくは安田川遊漁センター
(☎0887-38-6121)でご確認ください

安田まちなみ交流館・和（なごみ）

「風になつた 龍馬展」を開催

坂本龍馬にゆかりの深い
安田町ならではの幕末に関する企画展を、
安田まちなみ交流館「和（なごみ）」で開催。
風情のある建物内で行われるだけに、
趣もひとしおの展覧会です。

ゆかりのある龍馬の展覧会

昨年10月29日から始まった、安田町
と高知県立坂本龍馬記念館の連携企
画『風になつた龍馬 勝海舟・ジョン万次
郎・龍馬 同じ夢に結ばれて』。現在は
『時代は未来へ』をテーマにしたVOL.Ⅱ
が5月29日まで行われています。

『風になつた...』は、坂本龍馬記念館

が開館20周年にあたり、3年連続企画
として開催した展覧会。安田町では連
携企画として、2回の展覧会に要約し
た内容で開催しています。

安田町は幕末の志士・坂本龍馬の
一番上の姉、千鶴の嫁ぎ先。夫である高
松順蔵は私塾を開いていた儒学者で、
安芸郡勤王志士の育ての親といわれて
います。青年・龍馬も安田町に幾度とな



く訪れたことか
ら、影響を受けて

いたと考えられています。ま
た安田町や高知県東部地区
は、中岡慎太郎など多くの
勤王の志士を輩出した土地
柄。今回の企画展は、龍馬の
心のふるさとである安田町
にびつたりといえるでしょう。



◀ 高松太郎 ガラス湿板(写真原版)



▲高松家所蔵の甲冑

▶採樵歌
(高松順蔵歌集)



「龍馬の長姉・高松千鶴が書いた羽織注文書」



高松順蔵印譜



新政府網領八策(国立国会図書館複製)

新史料を初公開中!

会場の安田まちなみ交流館「和(なごみ)」は、土佐の名建築として名高い古民家で、平成22年に修復された町の交流施設。展示されているのは大正2年ごろに建築された旧市川医院で、西洋の様式が取り入れられたレトロな空間が展示スペースにふさわしい雰囲気をつくり上げています。

展示では龍馬と勝海舟、ジョン万次郎の3人に焦点を当て、幕末の行動を検証。パネル解説や史料展示でわかりやすく紹介しています。また、高松家から安田町に寄贈された、千鶴が書いた注文書や坂本直(高松順蔵・千鶴の長男で後に龍馬の養子となる)の湿板写真の原板などの貴重な史料も初公開しています。

この企画展は5月29日まで開催しています。安田町に帰省されたときは、ぜひ観覧にきてください。

問い合わせ
安田町教育委員会
Tel:0887-38-5711



●安田町
町長 有岡正幹(右)

安田町では、激動の幕末に偉大な思想家や勤王の志士が多く誕生している。若き日の龍馬の足跡もある。安田まちなみ交流館の誕生を機に、坂本龍馬記念館との二人三脚で埋もれている先人の掘り起こし、顕彰に町民がひとつになって取り組みたい。

●高知県立坂本龍馬記念館
館長 森健志郎(左)

(安田まちなみ交流館「和」との連携)
先日、安田町の海を見て、いつも見る桂浜の海とは違う、ズキンとくる感動を覚えた。
龍馬の原点に近い人間性をはぐくんだ土壌感覚とでもいうか。だから、安田との連携は必ず新たな「龍馬像創り」のスタートになる。予感と期待に胸が膨らむ。

中山のユズ 海を渡り、韓国へ

近年、収穫量が上がって
きている中山地区のユズ。
昨年からお隣の韓国にも
輸出されるようになりました。



JA土佐あき 安田支所
中山事業所長 松本 泰児さん

中山地区で収穫されるユズの多くを受け入れるJA土佐あき安田支所中山事業所。ユズのほとんどは果汁として馬路村農協に納入され、ゆずドリンクに加工されます。中山事業所のユズ部会には153名の生産者がいて、年々、生産量も上がってきているとか。「平成19年に小川地区に搾汁工場が新設され、収穫シーズンにはフル稼働しています」と中山事業所の松本泰児所長は話します。

昨年はこれに加え、ゆず皮をゆず茶の原料として韓国に輸出しました。ただし、有機栽培をしているため、皮に傷が付きやすく、きれいな皮のものを選別するので出荷は20トンにとどまったということです。

全国や海外に広がる、安田自慢の特産品、ユズ。ふるさとの味を、知らず知らずに楽しんでいるかもしれませんよ。



中山のユズ、
料理と美容に
使っています！

前田由美さん(田野町在住)

夫の両親が中山地区でユズを栽培していて、11月には1ヵ月間、収穫をお手伝いしました。慣れない農作業に加えてユズのとげが痛くて大変でしたが、手伝いのお礼にとユズをたっぷりいただけて大喜びしました。ユズは料理に入れたり、エステに使ったりと大活躍です。

室戸市の海沿いで育ったからなのか、中山地区に行くと山の空気をすがすがしく感じます。地区の皆さんは明るい人ばかりだし、よくしていただいて、中山が大好きです。

職員派遣で 地域と協働

昨年4月から始まった、町職員の地域への配置。元気なやすだ地域再生支援事業として、町内各地区にそれぞれ役場職員を配置し、地域の取り組みをサポートすることが目的です。

高齢化が進む安田町にとって、自立に向けた地域の取り組みは不可

安田町

日々入

中里

瀬切

小川

船倉

中ノ川

与床

別所

正弘

西ノ川

内京坊

間下

安田川

東島

西島

庄田

新町

薬師

安田

不動

東谷

唐浜



みんなで地域の体力アップ！

元気なやすだ

地域再生支援事業

安田町の住民と町職員が一体となって、町の元気を取り戻すための取り組みが始まっています。

欠。町では、地域が抱える問題を住民と一緒に考え、共に解決の糸口を見つけることを目指しています。

「事業が始まって1年。今は地域の皆さんに職員を覚えていただくと同時に、職員も受け持ち地域をよく理解する段階」と清岡哲副町長は話し

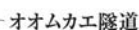
ます。職員は月に1度、担当地域の会合に出席するほか、地域の行事や自主防災組織の防災訓練に参加するなどして、地域との関係を深めています。

「地域に深くかわり、住民の皆さんとの距離を縮めることで、的確に課題を把握することが出来ます。そして、行政に携わる人間ならではのノウハウを生かして活性化に向けた支援ができると考えます」と清岡副町長。地域活力の再生に向けて、新たな取り組みが本格化します。



魚梁瀬杉の搬出を目的に、昭和30年代まで馬路村から田野町を走っていた魚梁瀬森林鉄道。「林鉄」と呼ばれ愛された交通手段は国の重要文化財に指定され、1911年の創業から100周年を迎えました。安田町でも、かつてのトンネルや橋梁など森林鉄道の遺構を見ることができます。

番外編 MAP 懐かし



④ 才才ム力工隧道



5 バンダ島隧道



⑥ エヤ隧道



⑦ 旧・安田不動駅





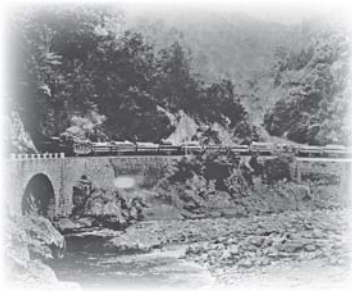
1 釜ヶ谷橋

[国指定重要文化財]



2 釜ヶ谷棧道

[国指定重要文化財]



3 明神口橋

[国指定重要文化財]



全国利き鮎大会で2度のグランプリ!!

「じねんの天然鮎」



※イメージ写真



安田川でとれる天然鮎は、「清流めぐり利き鮎大会」で2度のグランプリを受賞！ 味・香りともに最高級のお墨付きです。味工房じねんでは、鮎漁解禁シーズンにとれた安田川の鮎を新鮮なうちに瞬間冷凍して、豊かな味と香りを丸ごと全国にお届けしています。(年中販売可能)

販売・お問い合わせ先

味工房 じねん

TEL:0887-39-2366

高知県立坂本龍馬記念館&安田町 連携企画

2011.4.3 龍馬の手紙を読む・朗読コンサートDVD化

「おとめさんにさし上る 龍」

朗読:小林綾子(女優)

演奏:西村直記(シンセサイザー)

龍馬の姉・乙女あての手紙(収録内容)

- ・脱藩後初めての手紙 文久3年(1863年)
- ・エヘンの手紙 文久3年(1863年)
- ・日本洗濯の手紙 文久3年(1863年)
- ・お龍紹介の手紙 慶応元年(1865年)
- ・新婚旅行の手紙 慶応2年(1866年)
- ・乙女に宛てた最後の手紙 慶応3年(1867年)
- ・龍馬のふるさと安田町 ほか



好評発売中 価格2,500円

販売・お問い合わせ先

安田の夢プラン推進会

TEL:0887-38-3047



編・集・後・記

今回の取材で、安田の夢プランのことを聞くと、「面白かった」「楽しかった」と大人から子どもまで大好評でした。続けるための予算をつくることは大変ですが、今後も続いていくことを願っています。

お問い合わせは

安田町役場総務課

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850

TEL.0887-38-6711 FAX.0887-38-6780

HP <http://www.town.yasuda.kochi.jp/home.htm>

E-mail ysd-somu@town.yasuda.kochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘716-2

TEL.0887-39-2008 FAX.0887-32-4008